

かわら版

女性部 版 314・250820 号

令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会が山形県山形市の山形テルサ テルサホールで7月19日、20日に開催されました。

現地参加 294 名 オンライン 67 名 合計 361 名 だったそうです。

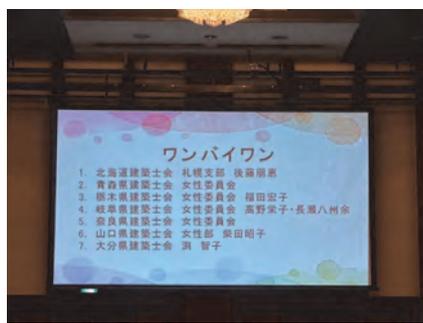
山口県からは 5 名の女性建築士が参加しました。

1 日目は、被災地報告・活動報告／基調講演「木造建築の可能性」、懇親会。

2 日目は 7 つの分科会に 5 つのエクスカージョン。懇親会場でのワンバイワン（活動報告）では、今年山口県も発表しました。

多くの学びと全国の女性建築士の仲間との交流ができた 2 日間でした！！

来年の開催地は東京（R8年7月19日、20日）、再来年は神奈川県となります！



～分科会に参加された女性建築士のレポート～

●分科会：古民家復権作戦

☆宮城県女性部会の「語ろう学ぼう木の建築講座」ZOOM配信に

参加していて、講師の安井妙子先生のお話をLIVEで聞ける！

とワクワク。単なる省エネ計算ではない断熱気密の手法

～今回はガラスの断熱気密ボックス～など古民家を暖かく

される発想がすごいです。先生の作品集「古民家復権」2冊目が

2026年に出版される予定だそうです。山口支部 Kさん



●分科会：建築士としての「防災」を今、考える

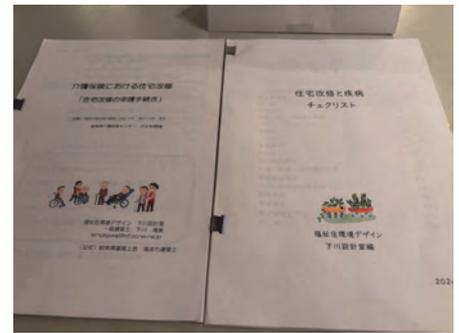
☆自然災害が各地で多発する中、災害時に建築士として、周りの人（クライアント）に何ができるか、を、水災の発災前、発災後を想定してワークショップ形式で考え、意見交換しました。沢山の具体的な発表があり、勉強になりましたが、一番響いたのは、まずは被災者に寄り添う気持ち（姿勢）というものでした。共感しました。又、被災された経験のある建築士からの実体験のお話は、とてもリアルで専門的で、災害への備えの大切さや、日ごろからの行政や地域との連携の必要性も改めて考えさせられました。ハザードマップの正しい読み解きを教えていただいたので、今後のクライアントとの打ち合わせでも、役立ちそうです。配布された資料には、必要な時にいつでも検索できるようにと災害関連の18ものサイトのQRコードを掲載してくださってました。これはもう、完全保存版級です!!本当に有り難いです。今後、活用したいと思います。下関支部 Sさん

☆自らが被災する、もしくは被災地域近くに住んでいたら自分ならどうする？いや自分なら、ではなく建築士として自分はいかに行動すべきだろうか、だ。F分科会ではこの課題に真っ正面から向き合うことになりました。自分の役割を踏まえた災害時の行動と配慮、心構えなど、まだまだ考えたりない点が多いとわかり、今後も続く課題として深掘りしていきたいと思いました。山口支部 Aさん

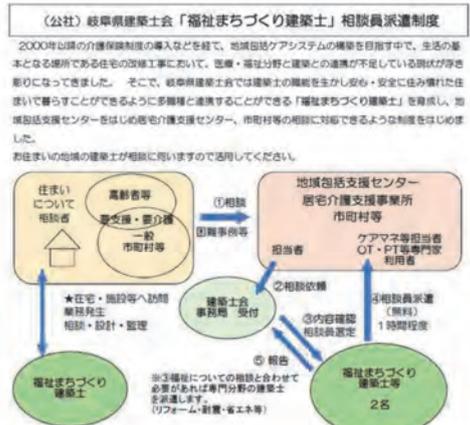
●分科会：「介護保険における住宅改修の適正化に関する業務」

☆両親の介護が本格的に始まる日も近いと感じる年齢になってきましたが、介護保険について、住宅改修について、何も知らない事に気が付き、この分科会を選択しました。

岐阜県建築士会では地域包括支援センターに相談員を派遣、ケアマネージャー等の介護者からの住宅改修に関する相談に応じたり、一般の要介護者や介護者からの相談に応じたり、介護保険の申請のあった案件の住宅改修部分について審査をしたりと活躍しておられて、要介護者の病状に応じて、どのような改修が必要かというチェックリストや、申請手続きに関する冊子など作成されており、改修方法だけではなく、病気やその病状について、しっかりと勉強し把握されていました。参加してみて感じたことは、全国では「福まち建築士」が活躍しているということでした。その意見交換もあって、そこに参加することはできず、皆様の活躍を聞いているだけでしたが、まずは、この分科会を第1歩として勉強していきたいと感じました。光支部 Mさん



「福まち建築士相談員派遣制度」

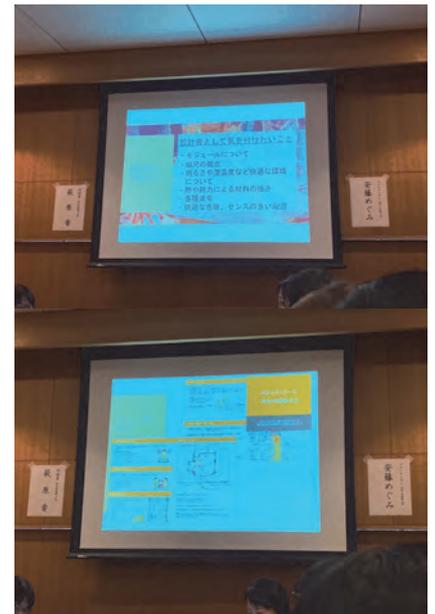


●分科会：ちびっこ「ちょこっとプランニング」

- ・住宅に家具を置いたり、間仕切り壁を描いたりして、自分の家を設計する小中学生を対象としたワークショップ
- ・主催は、商工会議所などの団体からの依頼
- ・開催地の住宅が、戸建か集合住宅が多い方で間取りを選定
- ・60分実施のうち、15分は説明、45分は作業
- ・士会会員は参加者と1対1対応
- ・費用は材料費3～5万円 (透明の家具シールを厚紙などに変更すると予算減)
- ・会員は、活動費無し。当日お弁当の補助
- ・高校生の進路は、高1からの検討が最多
- ・小中高生は、なりたい職業は動画・SNSを参考にしているケースが多い
- ・高校の出前授業や、賃貸を借りる際の間取りの見方を説明するなど「よろずや窓口」開催

実際に分科会に参加して、やり方が理解できました。山口県女性部でも、1組30分位のワークショップで内容を検討して、開催したいです。

山口支部 Nさん



原稿募集中

原稿の締切：毎月10日頃
かわら版発送：毎月20日頃

原稿の送り先

かわら版専用アドレス
kawaraban@y-shikai.or.jp
担当：小野田支部

かわら版申込等

TEL:083-922-5114



編集後記

私事ですが6月から犬と暮らす生活が始まり、ようやく慣れて先日、ペット同伴OKの旅館を予約し娘と島根旅行へ行ってきました。最近旅館はもちろん移動中の休憩所もペット連れに配慮してあり新米飼い主も困る事なく快適に旅を楽しんできました。 光支部 K